

各位

2025年2月10日
株式会社グリーンエナジー&カンパニー
(証券コード：1436)

太陽光発電所における苔栽培技術に係る業務提携契約に関するお知らせ

株式会社グリーンエナジー&カンパニー（以下、グリーンエナジー）は、株式会社グリーンズ・グリーンホールディングス（本社：新潟県新潟市、代表取締役：竹林 陽一、以下、グリーンズ・グリーン HD）と、太陽光発電所の下で苔栽培技術を活用することを目的とした業務提携を締結しました。本提携を通じて、農業とエネルギーの共存を図り、持続可能な農地活用の新たな可能性を創出します。

1. 業務提携の背景

近年、耕作放棄地の増加が社会的な課題となっています。グリーンエナジーは、この問題に対処するため、農業と再生可能エネルギーを融合させた営農型太陽光発電所の開発を推進しています。しかし、営農型太陽光発電所では、農地の有効活用と収益性の確保を両立する農業方法が大きな課題となっています。

今回提携するグリーンズ・グリーン HD が提供する苔栽培技術は、こうした課題に対する有効な解決策となり得るものです。特に、「スナゴケシート」を用いた苔栽培は、除草効果や CO2 吸収能力に優れ、環境面および経済面で高い効果が期待されています。

2. 業務提携の内容

本提携により、グリーンエナジーが開発する太陽光発電所において、グリーンズ・グリーン HD から以下のサポートを受け、苔栽培を展開していきます。

- ・ 苔栽培に関する資材の提供
- ・ 栽培技術の指導と運営ノウハウの共有
- ・ 苔の活用に関する実証試験および適用方法のサポート

グリーنز・グリーン HD は、これまでに国内外のさまざまなプロジェクトで苔栽培技術を提供し、成功事例を多数有しています。例えば、国内外のさまざまなプロジェクトなどの大手企業との協業を通じて、都市緑化や屋上庭園、環境保護プロジェクトにおいてスナゴケシートの導入実績があり、その効果が証明されています。

また、グリーンエネルギーは今回の提携において、苔栽培技術の活用に関する独占契約を締結しました。これにより、営農型太陽光発電所における苔の導入を他社に先駆けて展開し、持続可能な農業と再生可能エネルギーの組み合わせを全国規模で推進することが可能となります。

これにより、営農型太陽光発電所の農業部分の課題をカバーし、収益性向上と環境保全の両立を目指します。さらに、両社はこの技術を活用して、全国の耕作放棄地を再生可能エネルギー事業に転換し、持続可能な地域社会の実現を推進します。



※あくまで一例です

3. 株式会社グリーنز・グリーンホールディングスの概要

名称	株式会社グリーنز・グリーンホールディングス
所在地	新潟県新潟市中央区女池七丁目 19-11 G.lab NIIGATA
代表者	代表取締役 竹林 陽一
事業内容	農業、植物関連事業、農産物加工・販売、農業技術開発、農業教育など

4. 今後の見通し

本提携による業績への影響は現段階では軽微ですが、進捗に応じて追加情報を開示いたします。グリーンエネルギーは、スマート農業と再生可能エネルギーの普及を通じて、地域経済の活性化と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

補足：導入する苔栽培技術について

今回導入する「スナゴケシート」は、防草効果と持続性に優れた資材で、長期間にわたり防草効果を発揮します。この栽培技術は、営農型に限らず産業用太陽光発電所でも応用が可能です。苔はCO2吸収・酸素放出の特性をもち、持続可能な農業と環境対策の両立が期待されます。

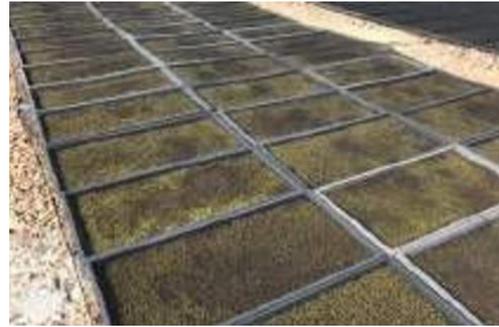
【参考リンク】：グリーンズ・グリーンHD ホームページ（苔技術の詳細）

<https://greensgreen.jp/#SUNAGOKE>

<太陽光発電所パネル下での苔栽培>



<太陽光発電所通路を利用した苔栽培>



<スナゴケ>



【本件に関するお問い合わせ】

株式会社グリーンエネルギー&カンパニー

IR 担当：渡邊

ir@green-energy.co.jp

【太陽光発電所における苔栽培に関するお問い合わせ】

株式会社グリーンエネルギー&カンパニー

営農グループ 担当：浅野

agri@green-energy.co.jp

以上